

# 心に太陽を

## なかよし楓月間 (11/1~11/24)

### ～自分や友だちのよいところを見つけ、つたえあおう！～

「自分や友だちのよいところを見つけ、つたえあおう！」のテーマのもと、なかよし楓月間が行われました。月間中には、校長講話をはじめ、姉妹学級との交流、互いのよさをカードで伝え合う児童会主催の「なかよしバタフライ」などが行われました。お互いによさを見つけ伝え合う姿がたくさん見られた月間となりました。

学校だより『心に太陽を』第8号では、「なかよし楓月間」や「人権同和教育講演会」の様子などをお知らせいたします。

### 森泉雄二校長先生の講話 「なかよし楓月間によせて」(テレビ放送)

今朝は-4℃、寒くなりました。でも、みんな元気に登校してきて、校門で元気にあいさつしてくれてうれしいです。「霜月」この漢字何て読むかわかりますか。「しもつき」と読みます。11月の古い言い方です。1年を24に分けた季節だと「立冬」、72に分けた季節でいうと「地始凍(ちはじめてこふる)」という季節になります。今朝、2年生は「校長先生、草の上もみ〜んな真っ白だったよ」と教えてくれました。

霜月 11月 立冬 地始凍



さて、11月2日(木)に体育館でお話してくれた先生がいました。覚えてる?有坂先生です。今日は有坂先生についてお話しします。有坂先生、こんなこと言ってたね。「歩くことができなくなりました。食べることができなくなりました。話すことができなくなりました。ベッドの上でたくさん泣きました。私は生きることを諦めました。でも、私は私のことが好きです」。岩村田小学校に来てくれた日の後、有坂先生がブログ(日記みたいなもの)に岩村田小のことを書いていたので紹介します。

- 「疲れたー けどね 学校訪問を始めて 『はじめて』がいくつかあり 心躍った」(退場の時かな?)
- 「はじめて1 がんばっての がんばってのシャワー こういわれると 元気になる 顔を上げると まじまじとそういつてくれる 照れくさくなるほどのがんばってくださいだった」
- 「はじめて2 いのちの授業のあと 子どもたちに取り囲まれての質問攻め 取り囲まれての質問攻めははじめて とってもなつかしく あのころを思い出した」
- 「はじめて3 退場するとき てを振ってくれた 一礼をする子はこれまでもいたが 手を振ってくれた子が何人もいた とまどった でもどうしてだろう? まあ きちょうな体験をした すなおによこべよいか」

みんなのこと、とても覚えていてくれていたようです。さて、有坂先生の話聞いて多くの友だちが感想や手紙を書いてくれました。紹介しますね。



<4年生>有坂先生は昔の岩村田小学校の先生です。でもその先生は、お薬がまだない病気にかかっていて、車イスで生活しているそうです。まだ世の中は、全ての人からくにくらせていないことを知りました。普通に通っているじやりの道も、車イスだと通れなかったりするの、みらいはみんなが安心してくらせるようなまちになってほしいなと思いました。

<3年生>この世界は自由だと思っていたけど、病気の人にとっては不自由な世界なんだなあと知りました。いつかいろんな病気を治す薬ができたらいいなあと感じました。いつかできたら、薬をつくれるようになって、いろんな病気の人に薬をわたして元気にさせてあげたいです。

<3年生>最後にいった「わたしはわたしがすきだ」という言葉がいい言葉だなと思いました。わたしはその言葉で、「自分は自分でがんばればいんだな」と思いました。

#### <1年生>

- ・いつもつらいことをのりこえてきて、よくがんばりました。わたしはげんきです。
- ・わたしはこうつうじこにならないようにするよ。じぶんをたいせつにしてね。おだいじにね。かなしいことがないように。
- ・かなしいことだっていっぱいあるとおもうけど、うれしいことだっていっぱいあるとおもう。おはなしきかせてくれてありがとう。

お話をしてくれた有坂先生の願いは何だろう。体育館でみんなと話し合いたかったけれど、今日は教室の友だちと話し合ってみてください。

# “命の授業 私の命を生ききる ～みんな幸せになれる～”

11月2日(木)に、人権同和教育講演会が行われました。有坂 栄康さんをお招きし「命の授業 私の命を生ききる ～みんな幸せになれる～」という演題でご講演をいただきました。有坂さんは元教員で、今から7年前、ALS（筋萎縮性側索硬化症）を発症し、現在も闘病生活を送っています。岩村田小学校にも在職経験があり、講演に来ることを楽しみにしていたそうです。

有坂先生からは「障がいは個性みたいなもの」「誰にでも幸せに生きる権利があること」「偏見や差別で悲しい思いをしたことがあったこと」「お互いに人権を大切にすること」「心のあり方で、だれもが幸せになれること」などのメッセージをいただきました。有坂先生からのメッセージは、子どもたちの心を動かしました。その心の言葉を幾つか紹介します。



有坂先生は、がんばって生きています。その言葉で「自分は自分でがんばればいいんだな」と思いました。

私は自分のことがあまり好きではない。けれど、有坂先生のできごとを聞いたら、自分の心がしげきされ、思いが変わった。もう大切って言うか、自分のことがほこらしくなって、自分のことをもっと大切にしたいな。

「病気になっても生きる!!」と決めたのがすごいことだな。私なら生きる希望を失ってしまうかもしれない。かなしいことをたくさん味わってきたベテランの先生。正直、こわかったけど、やさしいなと思いました。

有坂先生、すてきだなー。なぜって?だって、びょうきにかかっても「自分が好き」って思えるってすてき。

ぼくは有坂先生みたいな先生になりたいと思いました。ぼくは、初めてこんなことを思いました。

「人は色々な人に支えられている」という言葉に感動しました。先生をもう1回やりたいですか?今の岩小はどうですか?病気がなおってもなおらなくても、ぜひ、また、岩小に来てください。

「どんな先生だろう。」と思いながら講演を聞き始めた子どもたち。病気のこと、辛かったこと、幸せに向けて歩み始めたことなど、有坂先生の生き様に触れることで、どんどんお話を引き込まれていきました。心の言葉（振り返り）からも、子どもたちが「命」や「幸せ」そして「自分自身」について問い直す機会になったことが伝わってきました。

「ぼくも私もみんな幸せになれる」という気持ちにさせてくれる有坂先生のメッセージでした。

## 今後の主な予定

<12月>	<1月>	<2月>
5日(火) 支部子ども会	9日(火) 3学期始業式	1日(木) 来入児交流会・保護者会
12日(火) 個別懇談会(～18日)	18日(木) PTA理事会	6日(火) 児童総会
19日(火) 小中連絡会	19日(金) 楓の日③	9日(金) 参観日(低学年)
20日(水) 学期末清掃(～26日)	23日(火) 浅間中学校保護者説明会	13日(火) 参観日(学習室)
26日(火) 2学期終業式	24日(水) スキー教室(4～6年)	16日(金) 参観日(中学年)
27日(水) 年末年始休業(～1/8)	25日(木) PTA代議員会	20日(火) 参観日(高学年)
	30日(火) 全校4時間授業	26日(月) 準備児童会
		28日(水) 支部子ども会